

# ハヤヨミ！ 看護政策 No.428

都道府県看護協会長 様  
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部  
2024年4月19日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

## 地域医療構想のさらなる推進について議論 — 医療部会 —

公開可

### ◎地域医療構想のさらなる推進について議論

医療部会

3月21日に医療部会が開催され、事務局より2025年に向けた地域医療構想の進め方などを説明の上、自由に討議を行った。井伊副会長は「地域医療構想調整会議における在宅医療の議論を行っている割合は半数にとどまっている。今後、特に患者数の増加が見込まれる訪問看護を含む在宅医療について、全体の構想における将来像を明確にし、在宅医療の議論を行っている割合が半数である理由の把握・分析も必要ではないか。地域医療構想調整会議の中に、在宅医療・訪問看護や介護施設入所者への医療の提供の議論がうまく進んでいる事例があるのであれば、そうした事例を収集し、共有を図っていくことも意味がある」と発言し、在宅医療・訪問看護の需要量などについて議論を行うには、看護職員の需給推計が不可欠であるため、新たな地域医療構想を踏まえて、看護職員の需給推計の実施が急がれることなどを述べた。（執筆：木澤常任理事）

### ◎出産費用の見える化などについて議論

医療保険部会

4月10日に医療保険部会が開催された。出産費用の見える化を進め、妊婦の方々が、費用やサービスを踏まえて適切に分娩取扱施設を選択できる環境を整備するため、全国の分娩取扱施設に関する情報の提供を行うウェブサイト（以下、情報提供ウェブサイト）を、厚生労働省が2024年春からの運用開始に向け開設準備を進めていることが説明された。分娩取扱施設ごとの特色・サービスの内容などに関する情報と、出産費用などに関する情報を併せて公表予定。委員からは異論はなかった。その上で、現状存在している分娩取扱施設による提供するサービスの違いなどを踏まえ、誰もが安心して出産できる制度となること、今後議論が開始される出産保険適用を見据え、情報提供ウェブサイトへの掲載内容に関する絶え間ない検討を行うことなどを求める意見があった。（執筆：木澤常任理事）

「ハヤヨミ！ 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。

＜お問合せ先＞ 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>